

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により行った定期監査の結果の報告を次のとおり公表する。

平成27年2月9日

|         |       |
|---------|-------|
| 盛岡市監査委員 | 熊谷喜美男 |
| 同       | 菊池秀一  |
| 同       | 佐藤敬三  |
| 同       | 川村幸子  |

## 第1 監査の対象

### 1 仁王地区活動センター建設（建築主体）工事

- (1) 所管 市民部市民協働推進課
- (2) 契約金額 181,440,000円（消費税込み）
- (3) 工期 平成26年6月27日から平成27年2月21日まで
- (4) 請負業者 吉武建設株式会社
- (5) 工事場所 盛岡市三ツ割字下更ノ沢地内
- (6) 工事概要  
建物構造  
鉄骨造平屋建て（施工延べ面積798.66㎡）  
設置機能  
体育館403㎡，料理実習室40㎡，集会室106㎡  
工事内容  
直接仮設工事，土工事，地業工事，鉄筋工事，コンクリート工事，型枠工事，鉄骨工事，防水工事，木工事，屋根及びとい工事，金属工事，左官工事，建具工事，塗装工事，内外装工事，ユニット及びその他工事，外構工事
- (7) 進捗率 55%（平成26年11月20日現在）

### 2 盛岡市立緑が丘小学校校舎耐震補強工事

- (1) 所管 教育委員会事務局総務課
- (2) 契約金額 141,156,000円（消費税込み）
- (3) 工期 平成26年7月25日から平成27年3月1日まで
- (4) 請負業者 株式会社司組

- (5) 工事場所 盛岡市黒石野一丁目6番1号
- (6) 工事概要 施工対象物の構造等  
校舎棟2  
鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 523 m<sup>2</sup>  
校舎棟3  
鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 3,008 m<sup>2</sup>  
工事内容  
外付枠付アルミブレース (10 構面) , RC耐震壁 (4 箇所) 及びPC梁・柱 (9 箇所) の設置工事, 及び耐震補強工事に伴う内外改修工事, 電気設備工事, 機械設備工事, 発生材処分
- (7) 進捗率 45% (平成26年11月20日現在)

### 3 林道葦内沢線災害復旧工事

- (1) 所管 農林部林政課
- (2) 契約金額 49,680,000 (消費税込み)
- (3) 工期 平成26年7月5日から平成27年1月30日まで
- (4) 請負業者 株式会社高光建設
- (5) 工事場所 盛岡市繋字葦内沢地内
- (6) 工事概要 施工延長 L=306.2m  
擁壁工 (ブロック積工) A=345.4 m<sup>2</sup>  
擁壁工 (大型ブロック積工) A=117.1 m<sup>2</sup>  
排水施設工 (ボックスカルバート工) L=15.0m  
路盤工 A=705.5 m<sup>2</sup>  
構造物撤去工 V=14.4 m<sup>3</sup>  
仮設工 1.0 式
- (7) 進捗率 90% (平成26年11月20日現在)

### 4 繋配水場法面復旧外工事

- (1) 所管 上下水道局上下水道部浄水課
- (2) 契約金額 61,344,000 円 (消費税込み)
- (3) 工期 平成26年5月22日から平成27年3月16日まで
- (4) 請負業者 中亀建設株式会社
- (5) 工事場所 盛岡市繋字塗沢外地内
- (6) 工事概要 法面工  
現場吹付枠 922.6m  
ミニアンカー 208.0 本

附帯工 一式

施設解体撤去工

浄水施設（浄水機等） 79.21 m<sup>2</sup>

浄水施設（ろ過装置等） 170.73 m<sup>2</sup>

土砂等撤去工 一式

防護施設工

仮囲い（成形鋼板H=3.0m） 16.0m

(7) 進捗率 65%（平成26年11月20日現在）

## 第2 監査の実施期間

平成26年11月20日及び平成26年11月21日まで

## 第3 監査の方針

工事の執行に関し、設計・施工等が効果的・合理的かつ適正に執行されているかに主眼を置いて実施した。

## 第4 監査の方法

工事監査は、その技術面の視点から監査を実施するものであり、高度の専門知識を必要とするため、土木工事については公益財団法人岩手県土木技術振興協会に、建築工事については公益社団法人日本技術士会に技術士の派遣を依頼し、その協力のもと、関係職員からの説明を受け、設計図書及び現場の施工状況等の具体的事項について監査を行った。

## 第5 監査結果

各工事とも、全体として技術的な支障は見られず、おおむね良好な施工状況と認められたところであるが、一部の工事において次のとおり注意を要する事項が見られたので、適切に措置されたい。

林道葦内沢線災害復旧工事

### 【注意事項】

厚さが異なる擁壁の接続について、川側の面に段差を生じている箇所が見られたので、今後の工事施工に当たっては、河川管理者等関係機関と十分連携の上、適切に対応されたい。